

8月22日（火）小学生との座談会を実施しました！

対談テーマ

語ろう！創ろう！自分たちの学校、これからの学校

子どもの視点を踏まえ、子どもと共につくる教育施策を目指して、児童（高学年）との対談を通じて、第Ⅲ期学ぶ力向上滋賀プラン策定に向けての方向性や今後子どもたちにおける学ぶ力の育成の取組について考えました。

参加した教育委員

福永 忠克 教育長 村井 泰彦 次長 窪田 知子 委員
野村 早苗 委員 石井 太 委員 塚本 晃弘 委員

参加して児童の皆さん



参加校：長浜市立余呉小中学校 草津市立渋川小学校 湖南市立水戸小学校
日野町立南比都佐小学校 高島市立マキノ東小学校 大津市立瀬田小学校

意見交換より

【語ろう！学びについて】

- 委員：学習の中で間違っただけへアドバイスしてもらったときによかったと思ったことがあれば教えてください。
- 小学生：間違ってしまったときに、先生だけでなくクラスメイトからもアドバイスをもらえ、クラスメイトの人数だけ意見が違うこと分かり、自分の考えとは違う見方が分かりました。
- 小学生：考え方も同時に教えてもらえると次により間違えにくくなると思います。
- 小学生：自由進度学習では、グループで集まって自分たちでノートをとって学習することがあり、一緒に話し合うことができます。



- 教育長：各学校のタブレット端末を通じて、他の地域との交流や世界のことを調べておもしろかったことがあれば教えてください。
- 小学生：日本のカタカナの町というつながりで北海道のニセコ町と一年に2回、6年生同士でお互いのことを英語で自己紹介をしました。
- 小学生：英語の調べ学習の時に外国の名物や有名な場所などについて英語でまとめて発表する機会があり、英語だけでなく、地理の勉強にもなりました。

【語ろう！これからの学校について】

- 委員：先生が忙しそうでもう少し接する時間が欲しいとありますが、先生のこんなところが大変だと思うことを教えてください。
- 小学生：〇付けや提出物のチェックなど大変だと思う。もう少し先生の数が増えれば、先生と接する時間が増えると思います。
- 小学生：習い事が終わって学校の前を通る22時半くらいに学校の明かりがついていることがあります。
- 小学生：配るものが山のように積まれていてそれを見て何か手伝えなないかと思っています。



- 委員：困りごとを解決するために、学校や委員会活動などでこんなイベントをしていますということがあれば教えてください。
- 小学生：図書室の活動で、本を積極的に借りてもらえるように5冊借りたら景品（しおりや下敷き）をもらえるようにしました。
- 小学生：スローガンに対してどのように学校生活を送りたいかということが目で見て分かるように〇〇小学校の木を描いて、その周りに目標を貼って花が咲くような掲示をしました。
- 小学生：挨拶を広げるために玄関だけでなく、各担当が教室にいて挨拶をしたり、挨拶ができたらスタンプをあげたりするという取組をしました。

- 委員：コロナで一斉休校を経験されて、学校があるからできること、逆に学校がなかったらできないと感ずることがあったら教えてください。
- 小学生：学校は友達と遊んだり、交流したり、大人になっても一生友達になれるような場所だと思います。
- 小学生：実際に会えた時に元気でよかったと思った。リモートではなくて実際に会えることに意味があると思います。
- 小学生：学校では家では挑戦できないようなことも挑戦できる場所だと思います。
- 小学生：同じ年の人だけではなく、他学年の子とも関わることがいいと思います。

【小学生の感想】

- いろんな学校の良さや私たちの学校との違いが分かり、楽しかったです。これからも県内の学校交流の機会を増やしてほしいです。
- とても緊張してほとんど話すことができませんでしたが、休憩の時に少し話すことができてよかったです。他校では地域の特産物を自分たちで育てていると聞きました。学校によって地域の学習についてもいろいろな方法があると知りました。
- 一つ一つの質問に対してしっかり考えることができました。また対談のような機会があれば参加したいです。
- 自分たちの学校のことを発表することで、これからどのように学校で行動していけばいいか分かりました。この対談を通して学校をもっとよくしていきたいと思いました。
- 改めて学校のことについて考えることができ、とても楽しかったし、いい経験になったと思いました。「大人の考えだけで動いてしまうと、子どもは嫌になってしまう」という意見は確かにそうだと思います。
- 少し、緊張しましたが、自分の学校や他の学校の特色について言ったり、聞いたりできて、今後の学校について考えるよい機会になったと思います。
- 他の小学校の良いところや、タブレットの使い方について知ることができたので良かったです。他の小学校と交流することはあまりないので、この機会に知れて良かったです。
- 他の学校の人と交流して気づいた点が多かったので勉強になりました。私はあまり本を読まないで、「もっと本を読んでほしい」という意見が印象に残っています。
- 意見をしっかり言えてよかったです。これからの学校がよりよくなっていったらいいなと思います。

【教育委員の感想】

- 小学校生活（教員との関係）には比較的満足している旨の発言が多く安心しましたが、彼らの発言がもちろん全ての児童を代表している訳ではないので、不登校やいじめなどの問題があることにも留意して子どもの人権を守る施策を進めていかなければと感じました。
- 「学校」については、「(けんかすることも含めて) 友だちと会えること」「異学年やいろいろな人に出会えること」「家ではできないことにも挑戦できること」など、「学校に通う」ことに意味を見出していることがわかりました。不登校を経験している児童生徒数が増えている中で、一人でも同じように学校に通うことに肯定的な意味を見出せたり、安心して通える場所になればと感じました。(もちろん、学校が唯一絶対の居場所である必要はないと思いますが)。
- 子どもの側からみても「教員の多忙」を感じているようでした。先生を心配して話しかけるのを躊躇させてしまうようではいけません。働き方改革、学校運営の仕組み改善などを進めていく必要があります。
- タブレットを用いた学習に、他校での利用の仕方も含めて関心が寄せられていた。今後、他校、県外校、国外校とのオンライン交流の機会を増やすことが広い視野を育てるのに有用ではないかと感じました。
- 一人ひとりがしっかりと地に足の着いた意見を持って話をしてくれたり、他の学校の児童の意見にうなずきながら耳を傾けていたり、一生懸命メモを取っていたりする姿が印象的でした。
- 今回、6年生の子ども達との座談会でしたが、皆さんが自分の考えや思いを持っておられ、それらを飾らず自分の言葉で話してくれたことで思いが伝わりました。6年生は大人への入り口であり、学習面・生活面などで他者との交わりを得ながら様々な経験をし、日々の生活を充実したものにしようと頑張っている様子が伺えました。元気な子ども達との対談はとても楽しい時間でした。